

探究科等新学科の設置及び普通科活性化の方策について 報告書【概要版】

平成27年11月 探究科等新学科設置及び普通科活性化に係る検討委員会

《検討の概要》

本検討委員会は、平成27年6月9日、県教育長から検討の依頼を受け、国の教育改革を踏まえた探究型学習等の推進、探究科等新学科の設置及び普通科活性化の方策について、様々な立場から多角的に議論を重ねてきました。これまで3回の検討委員会を実施するとともに、議論の参考とするために、県立高校長及び中学校長に、探究科等新学科の設置及び課題探究型の学習やアクティブ・ラーニングの実施状況等について意見聴取も実施しながら検討を進めてきたところです。

県教育委員会は、この報告書の趣旨を踏まえ、今後新学科設置の対象校等について速やかに検討を行い、子どもたちが高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら価値の創造に挑み、未来を切り開いていく力を身に付けることのできる教育環境が整備されることを心より期待します。

I 普通科の現状と課題

- 1 生徒の学力差への対応
- 2 高大接続改革への対応と探究型学習の必要性
- 3 やまがた創生に係る人材育成

II 普通科活性化の方策

- 1 探究型学習の推進
 - (1) 「総合的な学習の時間」の改善
 - (2) 外部研究機関等との連携の拡大
 - (3) 探究成果の共有とICT環境の整備
- 2 アクティブ・ラーニングの積極的導入
 - (1) 校内研修体制の整備と授業改善
 - (2) 合同での教員研修体制の構築
- 3 やまがた創生に向けた取組み
 - (1) 地域課題の解決に取り組む探究型学習の展開
 - (2) 地域の産業界や行政等と連携したアカデミックインターンシップの実施
- 4 グローバル化に対応した教育の充実
 - (1) 中高連携による英語力向上の取組み
 - (2) 海外研修旅行の実施及び海外留学制度の活用の促進
 - (3) 海外姉妹校など海外の高校生との交流の促進
- 5 科学技術・理数教育の充実
 - (1) グローバルサイエンスキャンパス等教育プログラムの活用
 - (2) 全国的な科学コンテストへの参加拡大と総合型の科学コンテストの実施
 - (3) 女性科学者と理工系分野で活躍する女性の育成
 - (4) 教員の指導力向上と専門性の高い教員の配置

Ⅲ 探究科等新学科の設置

1 設置とその必要性

高大接続改革や学習指導要領の改訂等、国の教育改革の動向を踏まえた上で、今後の変化の激しい社会を生き抜く力を養成するために、新たな普通系専門学科として「探究科」を設置する。また、少子化による中学校卒業生数の減少が著しい地区においては、新学科の設置は困難であることから、普通科に探究型学習に重点的に取り組む「探究コース」を開設する。

2 学科及びコースの概要

(1) 探究科

- 課題探究に重点を置く普通系専門学科として、探究科を設置する。
- 募集定員は 80 名とし、1 年次は共通の教育課程で学び、2 年次以降、主に理数系に重点を置く理数探究科（理数科）と人文社会系に重点を置く国際探究科（国際科）に分かれ、学習内容の充実を図る。

(例) 6 クラスの学校に設置する場合 () は学級数

学 科		募集学科(1年次)	2・3年次	条例規定の学科名
普通(6)	改編 ⇒	普通(4)	普通 → 文系 ・ 理系	普通
		探究(2) ※80名をまとめ募集	理数探究 → 理系 ----- 国際探究 → 文系	理数 国際

(2) 探究コース

- 普通科の中に、課題探究により重点的に取り組むコースとして開設し、入学者選抜では、普通科と普通科探究コースを別々に募集する。
- 探究コースの募集人員は 40 名とし、1 学級の中に文系・理系志望の生徒が混在する学級編制となるため、1 年次より普通科とは別に教育課程を編成する。

(例) 5 クラスの学校に開設する場合 () は学級数

学 科		募集学科(1年次)	2・3年次	条例規定の学科名
普通(5)	⇒	普通(4)	普通 → 文系 ・ 理系	普通
		普通 探究コース(1)	普通(探究コース) → 文系 ・ 理系混合	

3 入学者選抜等

- 国の高大接続改革を見据え、平成 30 年度の入学生からの導入が望ましい。
- 探究科については理数科の学区と同じ扱いとし、探究コースについては普通科の学区とし、それぞれ複数校に同時に開設することが望ましい。
- 推薦入学者選抜は行わず、また同一校の普通科との併願を認めることが望ましい。